



Rotary
Tsuruoka West



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区方針 **「中核的価値観のもと、時流対応の時」奉仕の心の醸成と実践するロータリアン**

第2588回例会 2022年3月14日(月) 会場: グランドエルサン

◆会長 渡部 芳幸 ◆幹事 池田 拓弥

会長挨拶 渡部 芳幸 君



3月中旬になり、雪解けも進みようやく春に近づいて来た感じがあります。赤川の羽黒側河川敷が鶴岡市の雪捨て場になっておりますが、先日土手上的の雪もなくなり車で通行できるようになったので久しぶりに通ってみました。今年の雪の多さが改めて感じられました。例年は三川橋側からダンプが乗り付け雪を捨てていきますが、行っても河川敷の1/3ほど、多くても半分位までしか河川敷が埋まりませんが、今年はまだ羽黒橋側に近いくらいまで雪がありました。庄内日報社の記事によると、今冬の除雪対策事業の予算額は20億251万円に膨らみ、2005年の合併以来、決算額としては最多だそうです。12年度の事業費約

12億円を大幅に上回っています。同日付の追加補正額は5億5000万円。市は当初事業費として6億251万円を計上し1月16日付で1回目の専決処分として8億5000万円を追加していた。昨年度決算額は10億4415万円ですので約倍の経費が掛かっております。これが、他の事業などに使用できれば、もっと様々なことができるのにと考えてしまいます。

そして、先日3月11日は東日本大震災が発災して11年が経ちました。今なお避難生活をしている方もおられます。風化してはいけないことだと思います。

11年前の当時、私は鶴岡青年会議所の現役で専務理事をしておりました。毎日余震や停電、品不足など今まで当たり前の生活が一変し先行きが見えない日々でした。ニュースで流れてくる内容は悲しくなる現状で、心が不安になりました。そんな中でもメンバーと何度も石巻や東松島などに支援物資を運び、炊き出しをした日々が続きました。

私が学生時代住んでいた場所も津波で被害にあってました。周りには津波にのまれた車やがれきが散乱し、当時の面影はありませんでした。炊き出しで行った石巻での津波の被害があった小学校や街並みの景色や焦げ臭いは未だに記憶にあります。

今、同じような光景をニュースでよく見ます。それが先週もお話いたしましたロシアのウクライナ侵攻です。自然災害と人災の違いはありますが、あの戦争で破壊された町が震災の時の状況で見た景色とかぶって見えます。

そんな中、あるニュースを見ました。

「岐阜県内の有志ら、ロシアのウクライナ侵攻に抗議「この横暴を許してはいけない」 国旗カラーの千羽鶴を大使館に送る予定」

記事の内容は

- ・ロシアによるウクライナへの軍事侵略に抗議し、岐阜県内の有志が、青と黄色のウクライナの国旗カラーの色紙に「Stand With Ukraine (ウクライナと共に)」とメッセージを書き、「ストップ プーチン」と反戦とウクライナ支持への声を上げた。
- ・発起人は「私たちの声で今すぐ戦いを止めることはできないが、戦争は絶対に認めないと市民が意思表示をしていかなければ」と思いをフェイスブックに書き込んだところ、賛同者を得て抗議活動をすることになり、参加者でウクライナの国旗カラーの折り紙で鶴を折った。千羽鶴を完成させて在日ウクライナ大使館に送る予定という。

このヘッドラインを見たとき、私が思わず言った一言が 「馬鹿じゃね」

2021-2022 R I テーマ 奉仕しようみんなの人生を豊かにするために

この活動はやった気になる最高の自己満足です。他に良いモノが考え付かなかったと思います。全員参加でき、全員がトレーニング無しで作れる。手を動かすが頭は働かせない 時間分やった気になり疲労感があり達成感もあり、目の前に見える結果が出来る。一緒に苦労した連帯感・仲間感もある。

これこそ自己満足で終わる活動だと思います。一方的な善意の押し付けは相手にとっても迷惑です。2011年の東日本大震災や、16年の熊本地震の際にも千羽鶴を送ろうという呼びかけが広がりましたが、地元では『場所を取るし、捨てづらい』との声がありました。国内でもこの反応ですから、海外の方々は大量に送られると困惑するかもしれませんIMの際に最後私がお話した空腹の少年と釣りの話の最たるものがこのことかもしれません。

補足ですが、その団体は同じような指摘をいただき、ウクライナ大使館に送るをやめたそうで、宿屋に飾り、お客さんたちとこの問題を考えるためのシンボルにするという事でした。

今鶴岡市にいて支援できることの一つとして、日本赤十字社が実施する「ウクライナ人道危機救援金」の受付が市役所行われておりますのでお知らせします。200万人を超える人びとが、周辺国であるポーランド、ハンガリー、スロバキア、モルドバ等に避難しています。

その中で、鶴岡市が東京2020オリンピック・パラリンピックでホストタウンを務めたモルドバ共和国においては、ウクライナから8万人以上が避難しており、救済活動が行われているところです。

私たちができる事を少しでも行動に移したいと思います。

幹事報告 池田 拓弥 君



誕生祝い

3月 小野寺 佳克 君



会員スピーチ

会長エレクト 辻 博智 君



3月12日に行われた
PETS 報告

ニコニコBOX

本日の出席	会員数	29名	出席数	19名	出席率	65.52%
前々回の出席	出席率	75.86%	修正出席者数	24名	確定出席率	82.76%

会長エレクト研修セミナー（P E T S） 報告

2022-2023年度 RI会長
ジェニファー・ジョーンズ（初の女性RI会長）
カナダ オンタリオ州



2022-2023年度 RIテーマ

世界にもたらす変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすように呼びかけました。

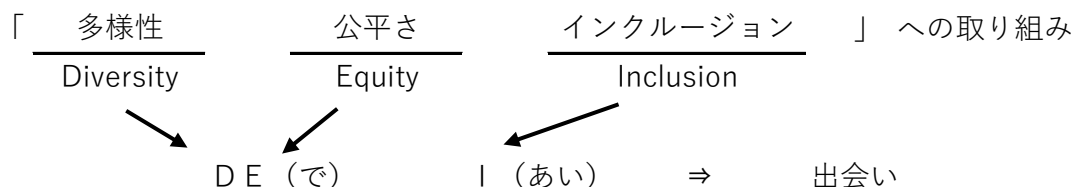
「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらすと知っています」

「私たちには皆、夢があります。しかし、その実現のために行動するかどうかを決めるのは私たちです」

「それを実現させる責任は自分たちにある」

「昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです」

RI会長エレクト 最優先事項



インクルージョン

包括（全体をまとめること）

包含（ほうがん。包み込む、中を含むこと）

2022-2023年度 2800地区
佐藤 孝子 ガバナー （2800地区初の女性ガバナー） 鶴岡RC

基本理念

「ロータリーに夢を持って 行動しましょう！！」

基本方針

- ・ 地区内各クラブ活性化を目指す
- ・ ICT情報通信技術を利用して交流の輪を広げる
- ・ ロータリー財団について理解を深める
- ・ 青少年奉仕活動を支援して若いリーダーの育成をする
- ・ RI会長エレクト 最優先事項「DEI」への取り組みを推進する

決議事項（案）

- (1) 地区賦課金の件
- ① 賦課金 17,000円／人
 - ② その他の賦課金
 - ・ ガバナー会運営協力金 200円／人
 - ・ ローターリー文庫運営協力金 200円／人
 - ・ RIJYEM 運営協力金 200円／人
- (①、②の合計 17,600円／人)
- (2) 地区大会賦課金：登録料 10,000円／人
- (3) 特別会計（地区災害等救援特別基金） 1,000円／人

申し合わせ事項（案）

- (1) 会員増強の件
各クラブ1名以上の会員純増
- (2) ローターリー財団の件
- ① 年次資金 50 \$／人（11/30まで納入）
 - ② ポリオプラス 20 \$／人（11/30まで納入）
- 1人年間 150\$ 目標
-
- (3) 米山記念奨学会の件
- ① 普通寄付 上期 2,500円／人
下期 2,500円／人
 - ② 特別寄付 クラブ会員全員（1,000円から特別寄付は可能）
- 1人年間 15,000円 目標
-

その他（クラブ運営上考慮すべき点）

- (1) ガバナー公式訪問 2022年11月7日（月）
- (2) 地区大会 2022年11月12日（土）～ 11月13日（日） 鶴岡市にて
- (3) 第二グループIM 2023年2月 か 3月頃 庄内町にて
- (4) 鶴岡RACの第二ブロックでの共同サポート クラブ負担40,000円
- (5) 交換留学生 負担金の復活 次年度より交換留学が復活するため
次年度は第二グループからは2名 台湾、メキシコ
人頭分担金 今年度中（2022年6月末まで 4,000円／人）
次年度（2022年7月末頃をめぐり 4,000円／人）
- (6) 第1、第2グループでの海浜清掃は次年度も継続事業とする予定

